第１学年２組　国語科学習指導案

指導者　藤本　有紀

１　題　材　　「伊曽保物語」－蟻と鳩のこと

２　題材について

(１)　「伊曽保物語」は比較的新しい時代の作品なので、古文自体が読みやすいものになっている。また、古代ギリシャの寓話集「イソップ物語」を翻訳したものであり、既に見聞きしたことのある物語も多いため、生徒も親しみやすく、内容理解も容易だと思われる。加えて、物語は2段落構成となっており、第1段落は動物を主人公とした短い物語、第2段落は第1段落を踏まえて、読み手がわきまえ、考えるべき道徳を教訓として位置付けている。この点においても生徒が理解しやすい構成となっていて、抵抗が少なく古文が読めるのではないかと考えられる。

(２) 　本学級（男子12名、女子16名、計28名）の生徒は、全体の場で発表をすることに抵抗がなく、授業に対して前向きに取り組む生徒が多い。特に、グループでの活動が得意な生徒が多く、自分の考えを明確に述べることができている。ただし、他人の意見を取り入れたり踏まえたりして意見をまとめることを苦手としている生徒も多い。

　　　　国語や古文の授業についてのアンケート調査を行ったところ、国語の授業が好きな生徒が約54％、古文に興味があると答えた生徒が約25％、「竹取物語」などの昔話が好きな傾向にある生徒が約32％、暗唱が得意だと答えた生徒が約25％となった。国語に苦手意識をもっている生徒が多いことが分かった。また、古文に興味がある生徒は少数であり、それに比例するように昔話に親しみを感じていない生徒が多数を占めている。一方で、本時の題材である「伊曽保物語」の元となった「イソップ物語」自体は、「ウサギとカメ」など、知っている物語がある生徒は、学級のおよそ半数の生徒が知っている物語があるということで、物語自体には、親しみやすいのではないかと想像される。

(３) 　本題材では、次の点に留意して支援を行いたい。　

　古典に親しむうえで、話し合いを通してより内容を深めることに重点を置きたい。話し合い活動を通して、古典が身近なものであるということを実感させる。話し合うことについて学習指導要領Ａ話すこと・聞くこと（1）のオでの、「話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。」とある。1つの題材からでも多種多様な意見が出ることが予想されるため、自分と違う意見をどのように集約すれば、円滑に話し合いが進むのかを机間指導などで支援していくことに重点を置いた授業としたい。

３　題材の目標

(１)　 内容に似た実体験や場面を考え、話し合いに参加することができる。

(２)　 話し合いを通して、自分の考えを深めることができる。

(３)　 話し合いや発表を通して、話したり聞いたりする力をつける。

４　学習指導計画（4時間）

(１)　歴史的仮名遣いの確認、音読　　　　　　　　　　　　　……　1時間

(２)　本文「犬と肉のこと」「蟻と鳩のこと」の内容理解　　　 ……　2時間

(３)　主題の考察・まとめ　　　　　　　　　　　　　　　　　……　1時間（本時）

５　本時の学習指導

(１)　目標

* 内容から考えられる教訓を考えることを通して、古典を読むことによる学びがあることに気づ

き、経験を踏まえて、自分の考えを深めることができる。

(２)　準備物

　　　　・「伊曽保物語」動画　　・まなボード　　・タブレット　　・テレビ

(３)　学習指導過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習内容及び活動 | 予想される生徒の反応 | 教師の支援及び指導上の留意点 |
| １　本文を音読する。  ２　「伊曽保物語」の他の物語のあらすじを知る。  ３　実生活での体験を思い  おこすことで、教訓が身近なものであること、古典（古人）の考え方や体験が今も昔も変わらないことを実感する。  　(１)　個人  ・　文章にする。  　(２)　グループ（５人）  　　・　同じ意見や違う意見をまとめ、発表用ボードを作る。  　(３)　（２）をグループごとに発表する（各班1分）。  ４　授業の振り返りをする。  ・　自己評価カードに授業  の取り組みを★で評価す  る。  ・　話し合いやほかの班の発表を通して、感じたこと、学んだことを書く。 | 「伊曽保物語」はなぜ読み継がれるのだろう。  ・　「蟻とキリギリス」から、夏  休みの宿題を夏休み前からし  ていた子は終わるのも早かっ  たけど、自分はギリギリで始  めたので夏休みの終わり頃に  焦ってすることになって大変  だった。  ・　「北風と太陽」から、「勉強しなさい」と親に言われたときはやる気が出ないけれど、自分から机に向かったときははかどるときに似ている。  ・　班の中で、意見をまとめるのが難しかった。  ・　同じ物語でも、班によって教訓の捉え方が違うところもあった。  ・　昔の話だが、今にも通じる  　話だと思った。 | ・　繰り返し読むことで古文を読み慣れることを意識させる。  ・　動画を流して話の概要を把握させる。  ・　例として、前時の内容である「蟻と鳩のこと」の教訓からどのような体験があるかを挙げる。  ・　生活の中で、生徒たちが行っていることをもとに例を挙げる。  ・　話し合い、自分とは違う意見をまとめる中で、他者の意見をどのように聞いて集約するのかを机間指導で補助していくようにする。  ・　発表用ボードは、見る人が一目でわかる物にするよう意識させる。自分のワークシートをマナボードに挟み、上から書き込みをしていくようにする。  ・　日常に起こる出来事は、今も昔も変わらない。そこから学ぶことで古典を読むことの大切さをおさえたい。  評　評価  ・　本文に則した明確な根拠をもって、話し合いに参加することができたか。  ・ 話し合いを通して、自分の考えを深めることができたか。 |

様式は、「R２学校訪問」の中にあります。

お忙しい折ですが、　**５月１８日（月）までに**お願い致します。

ペーパー打ち出しは教頭先生まで。ファイルは下記のフォルダーまで。

ネットワーク→飯山中学校→04校務　→04現職教育→R2学校訪問